

世界IPC PRESS

企業を元気に、情熱系 経営マガジン

SAKAI CITY
INDUSTRIAL
PROMOTION CENTER

www.sakai-ipc.jp

2020.1

VOL.
54

● 特集
ケーワム化学株式会社 / LET'S ONE 株式会社

堺への移転でステップアップ



● 「継ぐ」極意 ⑤

事業承継は“友好的乗っ取り”
先代への敬意を示しつつ、次代への挑戦を

サンプラ ピースリー
SANPLA P3株式会社 高原 弘貴さん

● 堺のすご腕 ② ③

新感覚の繊維加工用薬剤を開発
コタニ化学工業株式会社

● SAKAIの傑作 ①

シーリング材の技術を活かして
DIY用アイデア製品に
シャープ化学工業株式会社

CASE
01

より品質基準の厳しい化粧品業界へ 投薬瓶の豊富な実績が評価されて、

ケーエム化学株式会社
代表取締役 松尾 良高



堺市の、従業員数4名以上のものづくり事業所は現在約1400社。機械・金属加工や化学など多種多様な産業分野で貢献しています。

最近、新たに堺市へ本社や工場を移された2社のものづくり企業を訪ね、堺への移転にどのような意味があつたのかなどをうかがいました。

瓶本体からキャップの製造、 目盛りのプリントまでを自社内で

ケーエム化学株式会社は、調剤薬局で処

方される水素などのための投薬瓶や軟膏容器のメーカーとして、1978年に創業。今は、無色透明なクリアボトルやカラーメモリ投薬瓶、乳児用投薬瓶、点鼻容器など、多様な用途に応える豊富な製品バリエー

ーションを誇っています。

その同社の一番の強みは、これらの製品のはほぼ100%近くを自社内の設備で製造していることにあります。例えば、瓶本体のようなかみ状態の製品を作る「ブロー成形」と、キャップの製造に適した、金型の空間に樹脂を注入して成形する「インジェクション成形」、さらには高品質なボトル成形に最適な「スティラートレーフチロー成形」の全ての技術と設備を持つているメーカーは珍しいといいます。驚くのは、カラーメモリ投薬瓶の、

ボトルに施された目盛りのプリントも自社で行っているということでした。ほぼ全ての工程を自社内で完結させようと考えた理由を松尾良高社長にうかがいました。

「最初は、キャップなどは外注していましたが、取引先が倒産したり、あるいは納期が間に合わなかつたり、といったことから、自然と社内に設備を整え、自社製作するようになりました。結果的には、そのほうが納期管理や品質管理も円滑になり、将来的には、

各種医療器製造販売
ケーエム化学株式会社



98~99%まで自社生産しているという、ケーム化学オリジナルの製品ラインナップ。



新工場では3つの工場に分散していた製造ラインが集約され、格段に生産効率が向上した。

また、投薬瓶の製造を通して高めてきた技術力が認められて、最近では、化粧品の容器の注文が入ってくるようになったそう

て、「これまでこうした支援を受けたこともなかつたし、制度について知らせられることも

また、PET樹脂のボトルは、縦と横の2方向で伸ばすため樹脂の強度が増し、落としても割れにくいういう特質を備えています。しかし、その成形機が非常に高価なため、常識的に考えれば、ある程度の仕事量が確保されなければ導入に二の足を踏むところを、同社では、具体的な製品化が見えないうちから、勉強のためにと一台導入したそうです。それが業界初となつた無色透明の投薬瓶の開発につながりました。

■ ケーム化学株式会社

代表者名／代表取締役 松尾良高
本社／堺市南区若松台3-1-2
TEL／072-350-3830
設立／1978年設立
資本金／1,000万円
従業員数／20名
事業内容／各種医療容器、理化学・臨床・製造販売
[https://www.km-kagaku.com/](http://www.km-kagaku.com/)



厳しい基準で検品する当社の高品質なものづくりが信頼され、化粧品業界への進出も果たしました。

ボトルへの塗装や、外箱の製作も自社でやつてしまおうかと考えているところです」。金型も機械も備えていれば、万が一の在庫切れにも、即対応できる。そこもまたメーカーとしての強みだと考えられています。

堺市に4つの工場を集約し生産効率が飛躍的に向上

た。併せて、1か所に全ての機能を集約したこと、生産効率が高まつたうえに、在庫の無駄がなくなつて、逆に遊ばせる機械が出てきたほどです。生産量が落ちたわけではなく、いのに」と語っています。

想定外だったのは、ものづくり企業の集積地である八尾と異なり、すぐ近くに工具屋

がないこと。「うちは、機械の修理や改善も自分でやつてしまつて、ドリルなどの工具やネジが必要な時にすぐに手に入ると助かるんです」。しかし、その一方で、堺市や堺市工場と奈良県広陵町に1つの工場を有していましたが、生産効率が悪いということで堺市内の現工場への集約を決めたといいます。堺市を選んだ理由は、「自宅に近いから（笑）」と話す松尾社長ですが、移転によつて、思つていた以上の効果が得られたとか。

「新工場の建設にあたつては、もとからあつた運輸倉庫の建物に加えて建て増しも行ない、同時に機械を2台、新規に導入しまし

う」という同社では、新たな製造技術の獲得や、新製品の開発に積極的に取り組んできました。乳幼児が簡単に開けられないレッサを導入するにあたつて、堺市の「スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業補助金」の支援を受けています。

「これまでこうした支援を受けたこともなかつたし、制度について知らせられることも

もなかつたのですが、堺では、工場の建設中から堺市産業振興センターのサポートを受けました。身近に相談できるのがいいですね」。

PET樹脂成形の技術力が評価され、化粧品容器を受注

もう一つの事業の柱に育てたい夢は、そのラインのための新工場建設ですね」と松尾社長。堺への移転を契機に、さらなるステップアップが図られようとしています。

「将来的には、投薬瓶の製造事業と並ぶ、

もなかつたのですが、堺では、工場の建設中から堺市産業振興センターのサポートを受けました。身近に相談できるのがいいですね」。

た。併せて、1か所に全ての機能を集約したこと、生産効率が高まつたうえに、在庫の無駄がなくなつて、逆に遊ばせる機械が出てきたほどです。生産量が落ちたわけではなく、いのに」と語っています。

想定外だったのは、ものづくり企業の集積地である八尾と異なり、すぐ近くに工具屋

がないこと。「うちは、機械の修理や改善も自分でやつてしまつて、ドリルなどの工具やネジが必要な時にすぐに手に入ると助かるんです」。しかし、その一方で、堺市や堺市工場と奈良県広陵町に1つの工場を有していましたが、生産効率が悪いことで堺市内の現工場への集約を決めたといいます。堺市を選んだ理由は、「自宅に近いから（笑）」と話す松尾社長ですが、移転によつて、思つていた以上の効果が得られたとか。

「新工場の建設にあたつては、もとからあつた運輸倉庫の建物に加えて建て増しも行ない、同時に機械を2台、新規に導入しまし

う」という同社では、新たな製造技術の獲得や、新製品の開発に積極的に取り組んできました。乳幼児が簡単に開けられないレッサを導入するにあたつて、堺市の「スマートファクトリー・スマートオフィス導入支援事業補助金」の支援を受けています。

「これまでこうした支援を受けたこともなかつたし、制度について知らせられることも

もなかつたのですが、堺では、工場の建設中から堺市産業振興センターのサポートを受けました。身近に相談できるのがいいですね」。

PET樹脂成形の技術力が評価され、化粧品容器を受注

もう一つの事業の柱に育てたい夢は、そのラインのための新工場建設ですね」と松尾社長。堺への移転を契機に、さらなるステップアップが図られようとしています。

「将来的には、投薬瓶の製造事業と並ぶ、

新社名のもと全社一丸となつて、 自社ブランドの立ち上げへ

LETS ONE 株式会社
代表取締役社長 和田 信二



「ポンと入れるだけ」を切り口に
薬剤のタブレット化で急伸

浴槽の中で泡を出しながら溶けてゆく入

浴剤や、洗濯機の中に入れるだけで洗濯槽
を洗净する固形洗净剤、キッチンの排水口
用スメリ取り剤など、私たちの暮らしの身
近にあるケミカル錠剤の製造販売を行ってい
るが、LETS ONE 株式会社です。

創業は1947年。当初は油脂製造販売
を行っていましたが、やがて電話用品の販売

や電話消毒サービス業へ。その後、電話機の
送話器に取り付ける電話消毒剤の製造を
始めたのが、今日の事業の原点のようです。

現在は、粉体・粉末の小分け充填と、その
両方で独自の技術を確立させ、OEM製品
を含めて多種多様な製品づくりを行ってい
ます。

した、「ポンと入れるだけ」を切り口に、それ
まで粉末だった入浴剤や洗净剤などのタブ
レット化を急速に進めてきたのです」と和田
信二社長。もちろん、単純に固めればいいも
のではなく、用途によって錠剤の機能も、発

泡しながら溶けるもの、崩壊して溶けるも
の、徐々にゆっくり溶けるものがあり、配合
する薬剤の設計も同社が行っています。

社では、大量生産が求められる100円
ショッフ用の商材を多く手掛ける一方で、高
付加価値な製品づくりを目指していくたい
と考えています。

**本社・工場の集約を目的として
アクセスの良い堺市北部に移転**

長く大阪市で操業してきた同社ですが、
2018年に本社を堺市に移すとともに、
社名も「第二商事株式会社」から、現在の社
名に変更しています。そこに込められた思い

「粉末薬剤を錠剤にするというのは、大手
化学メーカーが固形の発泡性入浴剤を発売
し人気を得たことが大きなヒントなりま
るのですが、LETS ONE 株式会社です。

分名を表示しなければならず、それによつ
て似品が数多く世の中に回ったとか。同

ただ、家庭用品品質表示法に基づいて、成

長く大阪市で操業してきた同社ですが、
2018年に本社を堺市に移すとともに、
社名も「第二商事株式会社」から、現在の社
名に変更しています。そこに込められた思い



粉末と錠剤それぞれの特性を生かしたOEMを手がけるほか、衣料用消臭スプレーなどの自社ブランド製品も本格的に発売をスタート。



処方・仕様通りに原料の混合を行う。その処方などについては、実績豊富な当社から提案することも少なくない。

をうかがうと「創業時は全国に販路を持つて、電話用品の販売などを行っていたので、こうした社名をつけたのでしょうか。ものづくりが主事業になつてからも、その社名を大切に使つきましたが、商事という社名が、海外製品を仕入れて販売しているような印象を与えるという助言をいただき、変更することにしました。新社名には、3カ所にあつた拠点を2つに集約し、全社が一つ、ワンチームになつて進んでいこうという思いを込めていました。あわせて、錠剤の英語表記「TABLETS」のLETSと、第二商事の一を表しています」と和田社長。

堺市への本社移転については、以前から分散している3つの工場を「1カ所にまとめたい」と考えていたところ、堺第二工場の斜め前に

売り土地が出たことから移転を決めたといいます。決め手となつたのは、「すでに堺に工場があり、大学時代に住んでいた」ともあって土地勘があつたこと。さらには広い土地が、海外製品を仕入れて販売しているような印象を与えるという助言をいただき、変更することにしました。新社名には、3カ所にあつた拠点を2つに集約し、全社が一つ、ワンチームになつて進んでいこうという思いを込めていました。あわせて、錠剤の英語表記「TABLETS」のLETSと、第二商事の一を表しています」と和田社長。

堺市への本社移転については、以前から分

ら支援に関する情報を持ち込んでくること

だつたといいます。「大阪市にもそうした支

援制度があつたのかもしれません、知る機

会がありませんでした。堺市ではさうそく、

堺市中小企業研究開発機能強化支援助

金を申請し、認可されまつたし、求人活動

をして、いた当社にさかいJOBステーション

を紹介いただき、若い人を3名採用できま

した。採用後も定着させるための支援を

行っていただいています」。

経営的な効果としては、本社工場と堺第

二工場を近くに集約できることで省力化が

高さも大きな要素でした」と話しています。

移転してから気づいたのは、堺市が产学研

官連携に積極的な地であり、また行政側か

ら支援に関する情報を持ち込んでくること

だつたといいます。「大阪市にもそうした支

援制度があつたのかもしれません、知る機

会がありませんでした。堺市ではさうそく、

堺市中小企業研究開発機能強化支援助

金を申請し、認可されまつたし、求人活動

をして、いた当社にさかいJOBステーション

を紹介いただき、若い人を3名採用できま

した。採用後も定着させるための支援を

行っていただいています」。

また、昨今の香りブームで注目されている

のが、同社が商標登録をしている香料含浸

用錠剤「フローラレット」です。香料をよく吸

取する特殊ケイ酸カルシウムを、オーダーに

応じてリングやハート型など自由な形状で

製造するもので、自動車の芳香剤から防虫

忌避剤、空間除菌剤などさまざまな展開が

可能で、販売チャネルもカー用品店やドラッ

グストアだけでなく、雑貨店などにも拡大

しています。

こうしたなかで同社では、自社のオリジナルブランドの立ち上げを考えており、す

ぐに昨年7月には、『クラウドファンディング

を活用して衣料用消臭スプレー剤

「Agenty」を製品化しています。加

齢臭が気になり始める世代の男性をメイン

ターゲットに開発されたもので、正式な発

売を前にすでに反響もあつたとか。

さらに、和田社長が思い描くビジョンは、

自社のオリジナルブランドとして 消臭スプレーや古墳型入浴剤を発売

二工場を近くに集約できることで省力化が図れたほか、人員配置に無駄がなくなったことは大きいと語っていました。

地域に根ざす企業です。「まず、百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録されたのを記念して、古墳型のオリジナル入浴剤を作りました。今年の発売予定です。今後、地域のためにどういったことで貢献できるか考え、実行していきたいですね。いつか、本社と向かいの工場の間を通る道が「レツワントリート」と呼ばれるようになれば(笑)」と語っていました。

※クラウドファンディング
インターネットを通じて、不特定多数の人から資金を募ること。



包装する前の検品では、外観はもちろん、重量や色調なども丹念に検品を行います。

LETS ONE株式会社

代表者名／代表取締役社長 和田信二
本社／堺市北区常磐町3-12-3
TEL／072-259-0101
設立／1947年設立
資本金／1,000万円
従業員数／53名
事業内容／粉末薬品の錠剤加工、受託・企画、電話消毒薬の製造、トイレタリー製品の企画・開発
<http://www.letsone.co.jp/>

以前から堺市の優良中小企業として注目されてきた

SANPLA P3株式会社。アルミや銅などの非鉄金属と樹脂など、異素材を組み合わせて成形できることを強みとしており、例えば、平たくした銅電線を組み込んだ樹脂レールや、80マイクロメートルという薄いアルミを樹脂と一緒に成形することに成功した床暖房システムの温水循環機構などが高く評価されています。

こうした独自の技術力を誇る同社の次代を担うのが、高原弘貴常務取締役です。3~4歳の頃から展示会に同行し、小学生の時には家業を継ぐことを意識していたといいます。中学生で日経新聞を愛読するほど、経済や経営への関心が高く、大学は経営学部へ。卒業後すぐに入社すると、高原弘美社長の「当社で色々が付く前に、他社の優れた経営者からも学んだほうが良い」という考え方から、1年間、大阪府工業技術大学講座を受講。さまざまな企業の後継者や幹部候補生と席を並べ、座学だけでなく実習や企業見学などを通して、実務的に経営術を学んだといいます。

すでに億を超える設備投資を任せられ、それが軌道に乗つたことから挑戦することの面白さを知ったところ。「目指すは、「あると便利な会社」から「なくては困る会社」です。規模を追わない多品種小ロット生産という現在の経営方針は変えないまま、今後も失敗を恐れず挑戦していくける会社にしたい。まずは5年間の安定経営、夢は百年企業ですね。ものづくりの魅力を広く伝えられる企業になりたいです」と語っています。

事業承継は“友好的乗っ取り” 次代への挑戦を

“

サンプラ ピースリー
SANPLA P3株式会社

堺市美原区多治井197 TEL.072-361-5452

高原弘美社長が、1969年に樹脂成形を主事業として創業。現在は、「プラスチック+α」をコンセプトに、成形用の金型生産から、精密金属加工までも扱っており、それにあわせて社名も「三光プラスチックス」から改名した。企画から設計、加工、そして量産までを一貫して行えるところでも高い競争力を発揮している。

<http://www.sanpla-p3.co.jp/>



「継ぐ」 極意

常務取締役
高原 弘貴さん



堺の伝統を未来へ。

堺市の伝統産業に従事する、若手職人を紹介します。



カフェで出される抹茶は、茶鑑定士が厳選した一番摘み抹茶の「堺の昔」を使用。



店頭では、各種日本茶や茶葉を使った佃煮などが販売されている。



三宅茉里奈 店長

小さい頃から親しんだ日本茶の魅力を伝えて

茶道の大成者、千利休生誕の地の堺にあって、日本茶やお茶スイーツなどをゆったり楽しむことができるというので、若い女性にも大人気のカフェ「茶寮 つぼ市製茶本舗」の堺本館。7年前に製茶メーカーの株式会社つぼ市製茶本舗が、元裸時代の建物をリノベーションして開いた、同社初めてのカフェです。

この1月から店長として、堺本館の運営を任せられたことになった三宅茉里奈さんは、大学在学中から3年間、同店でキャストとして働いていた経験があり、さらに自身も煎茶道の師範をしていた祖母や母の影響で、3~4歳の頃から日本茶に親しんでいたといいます。

「大学では建築を学んでおり、もともと古い建物に大変興味を持っていました。今ももちろん、学生時代から江戸時代の建物の中で働けることがとても嬉しかったです。」

大学を卒業した昨年の春に、つぼ市製茶本舗に入社。あらためて知った同社の170年の歴史の重みや、日本茶へのこだわりぶりは衝撃的だったとか。

「まず、安心安全なお茶の証として、有機JAS認証を取得していることや、茶鑑定士による茶葉選び、火入れ師による焙煎など、お茶への徹底したことわりに、おいしい一杯のお茶をいただくため驚きました。だからこそ、お客様にも日本茶の本当の旨味、甘味を知っていたみたいと、キャストにはお茶の淹れ方だけでなく、日本茶のある暮らしの豊かさや

講りまでも理解してもらえるよう伝えてあります」と三宅店長。

さらに、日本茶の魅力を伝えるための活動としては、同社の日本茶インストラクターによるお茶の淹れ方教室が随時開催されているほか、今後は、外国人観光客にも日本茶の魅力を紹介したいと考えています。

「ペットボトルのお茶は携帯しやすく便利だと思いますが、ぜひ急須で淹れるお茶のおいしさを知つていただきたいですね。当店では、贅沢なまでにたっぷりの茶葉を使って、じっくりと適温で淹れた一煎目のお茶と二煎目用として急須をお出ししています。一煎目の濃厚な旨味を楽しんだあと、二煎目は高温のお湯でいたります。一煎目と二煎目の味わいの違いを楽しんでいただきたいと思います」と語っていました。

休日には、古い建築物を巡ったり、知り合いの茶園に出かけて茶摘みの体験をさせてもらったりすることもあるとか。当面の目標は、日本茶インストラクターの資格取得だそうです。

取材協力
**茶寮 つぼ市製茶本舗
堺本館**

堺市堺区九間町東1-1-2
☎072-227-7809
営業時間 10時30分~18時
(カフェは11時~17時30分LO)
(火曜定休)

堺市中小企業活力強化資金融資(有担保)のご案内

堺市内で設備投資を行う中小企業者の方で、下記融資条件の①又は②に該当される方！
年利1.0%（原則、保証料負担なし）の設備資金向け融資です。

融資の対象となる方

- ① BCP（事業継続計画）を策定し、自然災害発生時に業務を継続するための設備投資を行う方
- ② 成長産業分野（環境エネルギー産業分野・健康医療産業分野・IoT/IT産業分野）又は IoT/IT技術の導入にかかる設備投資を行う方

※①又は②に該当しない場合は、年利1.4%（原則、保証料負担なし）になります

その他諸条件がありますので、詳しくは、堺市のホームページをご覧になるか、堺市産業振興センターまでお問い合わせください。

お問合せ 公益財団法人堺市産業振興センター 金融支援課

TEL 072-255-8484 / FAX 072-255-5162 / (融資お客様専用ダイヤル) フリーダイヤル 0120-072-232

堺市ホームページアドレス：<http://www.city.sakai.lg.jp/> から「堺市中小企業融資制度」で検索してください。

「メディカルジャパン2020大阪」 関西広域連合ブースへ出展！

さかい健康医療ものづくり研究会では、堺市内の中小企業が持つ技術シーズと健康・医療・介護・看護・リハビリ分野の現場ニーズを医工連携コーディネーターがつなぎ、製品開発などに総合的なサポートを行っています。2月に開催される「メディカルジャパン2020大阪」関西広域連合ブースには、研究会参加企業から5社出展します。是非お立ち寄りください。

展示会名：メディカルジャパン2020大阪
開催日時：令和2年2月26日（水）～28日（金）
10:00～18:00（最終日は、17:00）
開催会場：インテックス大阪

・株式会社ビー・ティー・アイ
(<http://www.bti-2.co.jp/>)

展示物：ポッチャ勾配具『ランブ』
連携先：大阪府立大学



・コバックス株式会社

(<http://www.covax.co.jp/>)

展示物：ベッドセンサー（床ずれ予防、離床予知）
連携先：大阪府立大学



・株式会社テクノタイヨー

(<http://www.techno-t.co.jp/>)
展示物：運動機器用オイルダンパー
連携先：大阪府立大学



・株式会社磯原製作所

(<https://www.hbrind.co.jp/>)

展示物：車イス取付尿バッグホルダー、歩行器取付尿バッグホルダー
連携先：大阪労災病院、正風病院



お問合せ 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課 さかい健康医療ものづくり研究会事務局

TEL 072-255-6700

・太陽バーツ株式会社

(<http://www.taiyoparts.co.jp/>)

展示物：ダイカスト鋳造による医療機器等の部品合理化提案
連携先：大阪電気通信大学



2019年度「堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」

—企業・地域経済発展など功績のある157名を表彰—

10月1日(火)、堺市産業振興センターイベントホールにおいて、「2019年度堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」が開催されました。「堺優良従業員表彰」は、堺市内の事業所等に勤務する従業員で、特に企業の発展に貢献があつた方々をより広く顕彰し勤労意欲の向上に資すること、また「堺技能功労者表彰」は堺市内で功労顕著な技能者の社会的・経済的地位と技能水準の向上を図ることを目的として、堺市と堺商工会議所が共催で、毎年実施しているものです。

今年は157名(86事業所)が栄えある表彰を受け、それぞれ永藤堺市長・葛村堺商工会議所会頭連名の表彰楯が授与されました。各部門別表彰内訳(順不同・敬称略)は以下のとおりです。

《堺優良従業員表彰》154名

◆永年表彰 104名

対 象：勤続10年以上、勤続20年以上、勤続30年以上、勤続40年以上(以降10年毎)

◆功労者表彰 45名

対 象：勤続年数を問わず、特に功労があつた従業員

◆産業ルネサンス表彰 5名

対 象：新商品・新サービスの開発、生産・環境分野での技術開発等、独創的なアイデアや新しい手法等を考案することで、地域経済の再生・発展に貢献した従業員またはグループ

受賞者：天堤 慶也(株式会社三星製作所)、加藤 憲一(株式会社クボタ 堀製造所)、阪口 健作(株式会社松本機械製作所)、谷 公文(太陽バーツ株式会社)、細川 真(株式会社クボタ 堀製造所)

《堺技能功労者表彰》3名

対 象：堺市域の産業振興及び業界全体の振興・発展に貢献している功労顕著な技能者

受賞者：杉田 晃一(植忠)、中埜 博行(堺ミシン商会)、花谷 真作(花谷電気株式会社)

受賞者氏名等、詳細につきましては、堺市ホームページ下記アドレスをご覧ください。

https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/kigyo/saiyo_techaku_ikusei/hyoshoshiki.html

貸会場のご案内「イベントホール・セミナー室・会議室」

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室、セミナー室、小ホールなど、幅広く対応可能な14会場をご用意しています。会議、研修会、講演会、展示会、パーティなどご利用ください。

【利用時間】9:00~21:00

【休館日】年末年始(12月29日~翌年1月3日)

【駐車場】約230台(無料)

【最寄り駅】中百舌鳥(なかもず)駅から約300m

堺市産業振興センター 貸会場お問い合わせ先 TEL 072-255-0111 センターホームページ (<https://www.sakai-ipc.jp/>)



イベントホール(ホール形式)



セミナー室4(スクール形式)



公益財団法人

堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

スマートフォンやタブレットで読める!
さかいIPCプレス デジタルブック配信中

CHECK

無料の専用アプリ/ブラウザでも閲覧OK!

便利な機能がいっぱい! ▶

10言語対応

[日・英・中・朝体・中・英体・韓・タイ・ホルトガル・インドネシア・スペイン・ベトナム語]

文字ボップ
アップ機能

本文音声
読み上げ

*ベトナム語は音声読み上げ機能には対応していません。



●南海高野線中百舌鳥駅より約300m ●Osaka Metro御堂筋線なかもず駅より約300m ●駐車場は、駅前の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

Tel 591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<https://www.sakai-ipc.jp/>



ところにあることで、何かの拍子に解決につながるアイデアを思いつくかもしれませんし、別の薬剤の開発がヒントになることもあります。何年も経ってから実現できる方法を見つけて連絡したら、「よく覚えていたね」と言っていただき、それが強い信頼関係につながっていることもあると思いますね」。

さまざまなオーダーがあったなかで、変わったものでは、ある温泉町の町おこしとして、衣料品に塗布して着ると温泉のようにボカボカする機能を付与する薬剤でした。苦労を重ねて、温感効果のある成分を、化粧品のように皮膚から吸収できる薬剤にすることに成功。それを使われたTシャツが作られ、大変喜ばれたということです。



完成した薬剤はパレットごとに整理され、出荷を待つ。

信頼を裏切らないものづくりで 非衣料分野にも進出

同社が開発したロングヒット製品には、毛玉の発生を防止するビーリング防止剤や花粉付着防止剤がありますが、独自に技術開発した薬剤については、一切特許申請をしない方針だと。その理由について、小谷社長は「特許を申請するには、製法などの情報を開示する必要がありますが、競合他社にヒントを与えることもあります。代わりに公証制度を利用して、知的財産権として保護を図っています」と語っていました。

これまで長く、アパレルメーカーなどの衣料産業に貢献してきた同社ですが、衣料の約90%が海外生産となった今日、テントや傘地、マスク、カーテン、マットといった非衣料分野へも進出しているほか、さらに、撥水剤や消臭剤、抗菌剤をスプレー・ボトルにしたものがアウトドアメー

カーなどのOEM製品として発売されています。最近では、「メディカルジャパン」に出展したことをきっかけに、看護服や介護服を専門にクリーニングしている企業からの引き合いもあったといいます。

「コタニに言えば何とかしてくれるという信頼に、これからも真摯に応えていきたい」。常に誠実にものづくりに向き合ってきた同社の自負を感じる小谷社長の言葉でした。



ホワイトボードに貼られた未解決の開発テーマ。常に頭の中にあることが、やがてアイデアを生むことに。

コタニ化学工業株式会社

代表者名 / 代表取締役 小谷 異
本社 / 堺市西区難波浜寺西町13-14
TEL / 072-268-0291
設立 / 1965年創立 1973年設立
資本金 / 2,250万円
従業員数 / 20名
事業内容 / 繊維加工用薬剤および仕上剤の開発・製造・販売
<http://kotani-chemical.co.jp>





機械だけに頼らないモノ作りを重視。

新感覚の繊維加工用薬剤を開発

コタニ化学工業株式会社

現工場への移転を転機に、 台湾や韓国へも販路を拡大

別珍やコール天などパイル織物の染色工場に勤めていた創業者・小谷卓氏が、その工場で使用される染色助剤や仕上げ剤の開発にも携わっていたことから、それを本業とする「IST化学研究所」で起業したのは1965年のことでした。摩擦堅牢度向上剤や光沢ツヤ出し剤などのヒット商品を世に送り出して、1977年に現在の臨海工業地帯に新工場を建

設、移転しています。それが、同社が急成長する大きな転機となったと小谷昇社長は語っています。

「ものづくりに専念できる環境が整えられ、海外は台湾や韓国へ販路を拡大させるなど、国内外で販売先が一気に増えました。当社の製品開発は、お得意先から『こんなものができるないか』という要望をいただいて、それに応えるスタイルです。全国に増えたお得意先から寄せられるさまざまな要望に面倒がらず、真摯に応えているうちに、当社の製品の幅も広

がってきたといえるでしょう」。

得意先からの要望に まずは「NO」と言わない

お客様から持ちかけられたテーマに対して、基本的に「できない」とは言わないといふ小谷社長。研究室に掲げられたホワイトボードには、お得意先から預かったテーマがいくつも貼ってありました。

「もううまいびん長い間、貼ったままのものもあります。しかし、常に目に触れる

堺 IPC PRESS

堺に活気を、ものづくり応援マガジン

SAKAI CITY
INDUSTRIAL
PROMOTION CENTER

www.sakai-ipc.jp

PRESS

2020.1

VOL.
54

SAKAIの傑作

シーリング材の技術を活かしてDIY用アイデア製品に

建築用シーリング材や接着剤の豊富なノウハウから誕生した、シャープ化学工業株式会社のDIY製品のラインナップです。例えば、トイレの汚れがたまりやすい便器と床の境目に施す「トイレのスキマフィル」は、女性社員から生まれたアイデア製品だとか。接着剤の技術を応用しながら、汚れたちはがせるところが工夫のポイントです。また、コンクリート床のひび割れ補修に便利な「メガハードワン」は、もともと業務用に製造されていたものをDIY仕様として、他と同じく100mlの少量でも販売しています。

浴槽と壁面のすき間を埋める「バスシール」の特筆すべき点は、容器のパウチに中身の色がわかる窓があけられています。これまで、シーリング材などの化学品は、水分を吸収すると反応して硬化するため、プラスチック製の容器を使うことができず、アルミを挟んだラミネート加工をしていました。そこで、フィルムメーカーと共同で新素材を開発。10年越しの念願だった、中身の色が外から確認できるパウチを実現させたのです。この画期的な容器が評価されて、さっそく大手メーカーからもOEM製品が発売されています。同社のスローガン「暮らし・化わる」の通り、独創的なアイデアが私たちの暮らしをより便利にしています。



シャープ化学工業株式会社

代表者名／代表取締役社長 村上 幹男
本社／堺市西区築港浜寺西町12-1
TEL／072-268-0321
設立／1960年創業 1965年設立
資本金／9,200万円
従業員数／49名
事業内容／シーリング材・コーティング材・接着剤の製造販売、工事関連商品の仕入れ販売、輸出入



シャープ化学がオリジナルに開発した「SKパウチシステム」は、使用後のゴミが10分の1まで小さくなるという高い評価を得ている。

